

が東京高等工學院校舎鐵筋コンクリート四階建及木造二階建延九九二坪)その他什器、備品、圖書、電誥等であるが、圖書は本館保存のもの五萬五千余冊、大塚支所保管のもの二千余冊である。この後一回にわたって銀行預金(第二封鎖)拾參萬余円、現金參萬余円計拾七萬余円及び電誥を寄附したのである。

以上のうち本館建物(會館及事務所)延一、二一八坪建築費四拾八萬余円、工學院校舎延九九二坪建築費拾壹萬余円この建築費の合計七拾萬余円であるが、時價數千萬円に評價さるべきもので、これあつて始めて終戦後に於ける勞働問題の處理に寄與するところ甚大なるを得たのであつて、先人の苦心また酬いらるゝ所ありといふ

可きである。

### 第五項 收支の決算

本會の會計經理は、設立當初に於ける政府補助金貳百萬円及び寄附額五百五拾參萬余円合計七百五拾余萬円を基本として運営されて来たのであつた。昭和二十一年度一般會計豫算は八拾九萬九千余円、うち特別積立金からの繰入れ金四拾壹萬五千餘円に及んだ。即ち基金四百萬円は參百萬円に減額するのやむなきに至つたので、經理上に何等かの打開を要する實情にあつたことは事實である。

清算法人に於て引継いだ資金は、土地、建物、什器、